

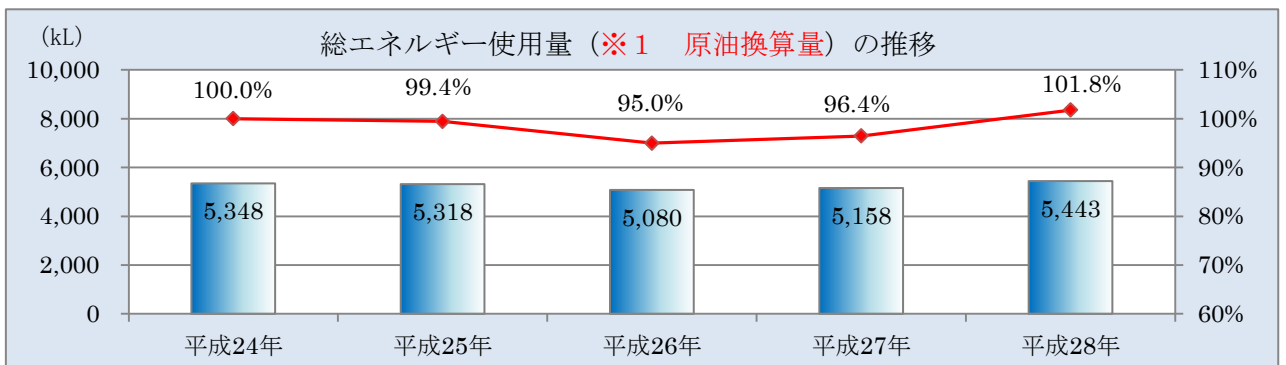
平成28年度 武庫川学院エネルギー使用状況

武庫川学院全体のエネルギー使用状況は下記のとおりです。平成24年度を基準に平成28年度までを比較しグラフ化しています。

① エネルギー使用量の推移

エネルギー使用量は、平成26年度までは照明・空調などを最新のものに更新することで徐々に減っていました。平成27年度は看護科学館・学校教育館・武道館の建設により、平成28年度は夏の酷暑による空調使用の増加等により少し増えてきています。

↓ 折れ線グラフはH24を100とした比較（右軸）



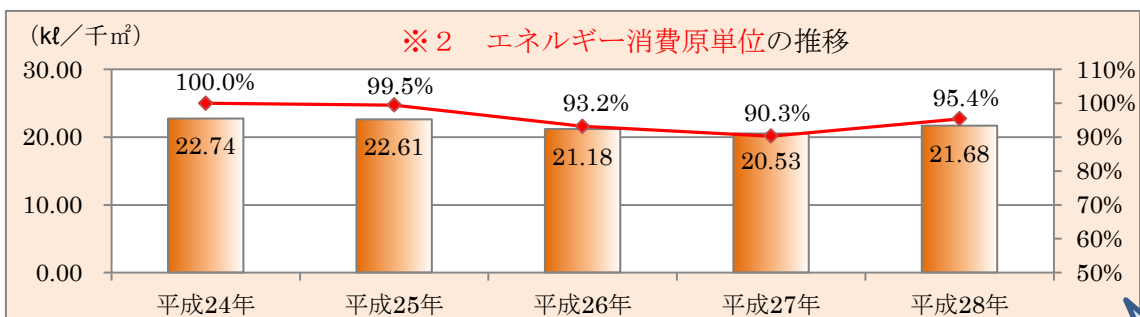
※1（原油換算量）

電気・ガソリン・重油・ガスなど、異なるエネルギーや燃料を共通の単位を用いて合計・比較するために、原油の単位量あたりの発熱量を用いて、原油の量（KL や L）に換算することを原油換算といいます。（省エネ法で定める計算数値）

② エネルギー消費原単位の推移

エネルギー消費原単位も徐々に減っていましたが、平成28年度夏の酷暑による空調使用の増加等により増えています。（前年度比5.6%増加）

↓ 折れ線グラフはH24を100とした比較（右軸）



※2（エネルギー消費原単位）

総エネルギー使用量をエネルギー使用量と密接な関係を持つ値（本学では建物の延床面積）で割った値。省エネ法では、この数値を下げることを目標にしています。

前年度比
5.6%増